

平成 27 年 6 月 日
総 務 省
(一財) 自治体国際化協会

第 9 回自治体国際交流表彰

自治体国際交流表彰（総務大臣賞）は、日本と海外の自治体の姉妹自治体提携等に基づく交流活動のうち、創意と工夫に富んだ取組を行っている団体を表彰し、広く全国に紹介することによって、自治体国際交流の更なる活性化を図り、もって地域の国際化に資することを目的としています。

このたび、次のとおり受賞団体が決定しましたので、お知らせいたします。

なお、この機会に、愛知県豊根村とサウジアラビア王国の若者との国際交流に対して、審査委員会奨励賞が授与されます。

1 受賞団体

○総務大臣賞

旭川市（北海道）、刈谷市（愛知県）及び四日市市（三重県）の 3 団体

○審査委員会奨励賞

豊根村・サウジアラビア王国交流促進委員会（愛知県）

2 表彰式

日 時 平成 27 年 6 月 16 日（火） 10:30～11:30

場 所 ルポール麹町 2 階 ルビー

（東京都千代田区平河町 2-4-3 電話 03-3265-5361）

（添付資料）資料 1 第 9 回自治体国際交流表彰 受賞団体の取組概要

資料 2 第 9 回自治体国際交流表彰の概要

（連絡先）

総務省自治行政局国際室 広富係長、山本

電 話：03-5253-5527（直通）

FAX：03-5253-5530

（一財）自治体国際化協会交流親善課 鎌形課長、清水

電 話：03-5213-1723（直通）

FAX：03-5213-1742

資料 1

第 9 回自治体国際交流表彰 受賞団体の取組概要

○総務大臣賞

・旭川市（北海道）

交流先	水原市（大韓民国）
取組概要	平成元年の姉妹都市提携以来、市民が主体となって、少年スポーツ交流事業、地域のまつりへの相互参加のほか、自治体職員の相互派遣研修など、様々な分野で活発な交流活動を継続している。

・刈谷市（愛知県）

交流先	ミササガ市（カナダ）
取組概要	昭和 56 年の姉妹都市提携以来、延べ 1 0 0 0 人以上が双方の市へ派遣されており、刈谷市では派遣者 O B ・ O G の会が組織され、交流活動を支援している。昭和 63 年には国際交流基金が創設され、継続的、安定的な実施枠組みが維持されている。

・四日市市（三重県）

交流先	ロングビーチ市（アメリカ合衆国）
取組概要	昭和 38 年の姉妹都市提携以来、教育、医療、環境等の広範な分野において、交流事業を実施している。ロングビーチ市、同じ友好都市である天津市、四日市市の高校生が環境問題について意見交換を行う地球環境塾など、様々な事業を毎年実施している。

(参考) 各都市の位置

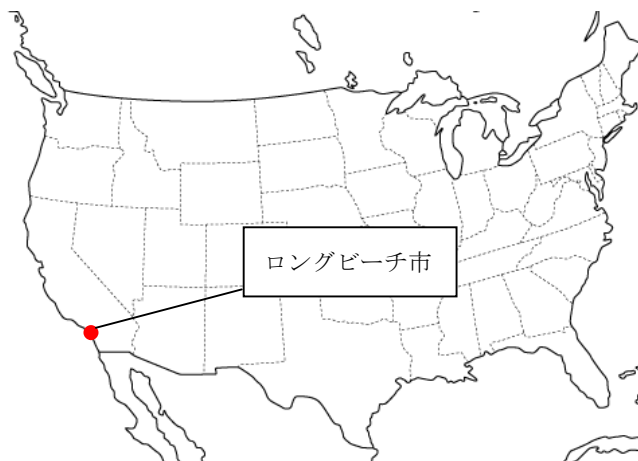
○水原市 (韓国)



○ミササガ市 (カナダ)



○ロングビーチ市 (アメリカ)



○審査委員会奨励賞

・豊根村・サウジアラビア王国交流促進委員会（愛知県）

交流先	駐日サウジアラビア王国大使館文化部
取組概要	<p>平成 17 年の愛知万博をきっかけに交流がはじまり、村民が自主的に交流促進委員会を組織し、現在に至るまで交流活動を継続している。平成 19 年から在日サウジアラビア留学生を豊根村に招き、日本の地域を体験しながら、交流を図る事業を実施している。</p> <p>なお、本交流事業は自治体同士の交流ではないものの、10年にわたる地道な交流の継続が高く評価された。</p>

（参考）サウジアラビア王国の位置

○サウジアラビア王国



資料 2

第 9 回自治体国際交流表彰の概要

1 主催

総務省、(一財)自治体国際化協会

2 表彰団体

日本の自治体と海外の自治体の姉妹自治体提携等に基づく交流活動を行っている次の団体とする。

- (1) 都道府県及び市区町村（政令指定都市を含む。）
- (2) 地域国際化協会、国際交流協会等の民間非営利団体

3 賞の種類及び表彰団体数

総務大臣賞 3 団体以内

4 審査基準

次の(1)～(6)の各項目を基準とする。

- (1) 先進性 他模範となる先進的な取組 等
- (2) 独自性 創意工夫、地域独自の特性を活かした取組 等
- (3) 継続性 活動の継続、効果や実績の定着、(実績は少なくとも)今後の活動の継続性・発展性が期待できる取組 等
- (4) 活発性 活動内容の充実の度合い、頻度 等
- (5) 協働性・連携性 住民や企業との協働、連携 等
- (6) 効果 地域の国際化、地域経済の活性化、地域の知名度やイメージの向上 等

5 選考方法

応募のあった団体及び、他団体から推薦のあった団体について、有識者等で構成する審査委員会（別紙）の審査を経て、総務省と(一財)自治体国際化協会が決定する。

資料2別紙

第9回自治体国際交流表彰審査委員会委員

平成27年1月1日時点

委員長	ナカムラ アキラ 中邨 章	明治大学 名誉教授
委員長代理	エノキダ カツシ 榎田 勝利	愛知淑徳大学交流文化学部 教授
委員	アリタ ミチヨ 有田 典代	特定非営利活動法人 関西国際交流団体協議会 理事
委員	タナカ タケン 田中 健	公益財団法人全国市町村研修財団 全国市町村国 際文化研究所 学長
委員	クドウ ヒロコ 工藤 裕子	中央大学法学部 教授
委員	ヨウ イ 孔 怡	株式会社天怡 代表取締役
委員	メンジュ トシヒロ 毛受 敏浩	公益財団法人 日本国際交流センター 執行理事
委員	ウエムラ サトシ 植村 哲	総務省自治行政局国際室 室長
委員	サエグサ ケンジ 三枝 健二	一般財団法人自治体国際化協会 理事